

発行 市川市消防局
〒272-0021 市川市八幡1丁目8番1号
TEL 047-333-2111(代) FAX 047-333-8181
ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>
※右のQRコードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

▼QRコード



火災・救急件数(5月末日現在)

- ◆火災 47件【前年比 -11件】
- ◆救急 9,071件【前年比 +324件】

第5回 消防局のお仕事



市川市消防団で昭和24年ごろから使われていた消防ポンプ車

《消防ポンプ車の歴史》
 特集記事の第5回目は、少し視点を変えて消防活動の主力である消防ポンプ自動車(自動車の歴史)です。ポンプ式の消火機器は、竜吐水と呼ばれる放水器具が江戸時代中期頃に登場します。移動・消火ができるポンプ車の登場は明治時代で、欧米から蒸気ポンプという、自走式で1000リットルの水を30分先まで放水できるものでした。ただ、蒸気式のため、動作まで時間が掛かる、操作が複雑、高額と課題もありました。導入数も少なく、本格的な消防ポンプ車の活躍は、ガソリン式の導入、昭和14年の国産のポンプ車製造を待つ事となり、消防法が施行された昭和23年から、本格的に普及していくこととなります。



大人気の「はしご車試乗体験」(昨年のサマーフェスティバルの様子)

消防局では夏休みのイベントとして、7月18日(土)午前10時から12時まで北消防署及び大野消防訓練場(大野町4丁目2163番地の1)で「子どもの消防広場サマーフェスティバル」を開催します。会場となる北消防署は訓練場を備えた緑豊かな消防署であり、毎年小さいお子様から大人まで、大勢の人たちでにぎわっています。子供たちがいろいろな遊びや体験を通して、火災予防や防災について楽しく学べます。昨年は、大人による消防体験「消防官マイスター証」を多くの市民の方に体験していただきました。まだ体験さ

「子どもの消防広場サマーフェスティバル」開催!

7月18日(土)

れていない方はぜひこの機会に、ご家族と一緒に参加してみたいかがでしょうか?
 また、今年はアーセナルサッカースクール市川による火災予防サッカー教室も開催いたします。

その他、消防ポンプ車やはしご車の試乗体験、さらに消防音楽隊の演奏や女性消防官による腹話術、特別救助隊の訓練のほか、住宅用火災警報器の展示・解説も行います。

消防署を見学しながら、夏休みの思い出や絵日記の1ページとして、ご家族みなさんと消防体験をしてみたいかがでしょうか?
 【問い合わせ】

ご不明な点は消防局 予防課へお問い合わせください。
 消防局 予防課 TEL 333・2111

(音声ガイダンス)①番 予防課
 (平日9時~17時)

※会場には駐車場がありませんので、電車・バス・自転車等をご利用いただきご来場をお願いします。また、雨天の場合は中止となりますので、左記消防局 テレホンガイドにてご確認ください。
 TEL 333・3636(当日6時決定)

新「消防艇ちどり」就航式によせて

市民の皆様におかれましては、本市の消防防災行政に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度、新「消防艇ちどり」が完成し就航する運びとなりました。



幸いにしてここ数年は、市川港において大きな事故は発生していませんが、水難救助や危険物流出などの事故は数多く発生していることから、小型・軽量化により機動性の向上を図るとともに、江戸川上流まで出動範囲を拡大し、海だけでなく河川における災害に対しても円滑に活動ができる体制といたしました。

また、近年では、首都直下地震や東海・東南海地震などの大規模な地震の発生が懸念されており、あらゆる災害に対応した消防防災体制が急務となっております。

本市といたしましては、市民の皆様が地域で安心して暮らせるよう、引き続き消防力の充実強化に努めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年5月25日

市川市長 大久保 博

新「消防艇ちどり」就航式

東京湾と江戸川に面する市川市では、陸上からの消防活動が困難な石油コンビナート沿岸部の火災や、海上での災害に対応するため、平成2年4月に市川市消防局東消防署高谷出張所に旧「消防艇ちどり」を配備しました。

以降25年間にわたり活躍しました旧「消防艇ちどり」は、老朽化が進んだことから、平成27年4月1日より、機動性を向上させた、新「消防艇ちどり」を配備し、市川沿岸の消防力を強化しました。

旧の高速艇としてそのスピードを發揮し、喫水の浅さを活かして川の沿岸、上流近くまで接近。水面に近い、救助用ステップを使い、救助者をスムーズに救助したほか、放水では1分間に1500ℓの水を放水できる放水砲2基を使用し、その放水能力を披露しました。

新「消防艇ちどり」の就航式を平成27年5月25日(月)に行いました。



就航式テープカット
左から上條消防委員長、大久保市長、中山議長



消防艇放水訓練

救命講習会のご案内

「救える命」がそこにある

1 受講対象者

市内在住または在学、在勤で中学生以上の方

2 講習内容及び日程（6月20日～8月19日開催分）

- ① 普通救命講習Ⅰ（成人に対する心肺蘇生法）
 - 平成27年7月12日（日） 9時～12時 定員30名
 - 平成27年7月16日（木） 9時～12時 定員30名
 - 平成27年7月23日（木） 9時～12時 定員30名
 - 平成27年7月28日（火） 9時～12時 定員30名
 - 平成27年8月14日（金） 9時～12時 定員30名
- ② 普通救命講習Ⅲ（小児・乳児に対する心肺蘇生法）
 - 平成27年8月11日（火） 9時～12時 定員30名
- ③ 外傷に対する応急手当講習
 - 平成27年6月20日（土） 9時～12時 定員30名
 - 平成27年7月23日（木） 9時～12時 定員30名
 - 平成27年8月19日（水） 9時～12時 定員30名
- ④ 上級救命講習（乳児、小児、成人に対する心肺蘇生法・異物除去法・三角巾の使用法、筆記試験）
 - 平成27年6月26日（金） 9時～17時 定員30名

3 講習場所

市川市消防局5階ホール（八幡1-8-1）

4 申込み方法

6月開催は6月1日より、7月開催は7月6日より、8月開催は8月3日より、電話にて受付を行います。
※受付時間は、平日の9時～17時までとなります。

5 申し込み先

消防局 救急課

TEL 333-2111

（音声ガイダンス②番 救急課）



「消防団員」募集

消防団とは、普段は自分の仕事を持つ人たちが、火災や地震などの災害時に出勤して、消火活動や救助活動、避難誘導などを実施します。

災害以外にも、防火防犯パトロールや歳末の夜間警備、祭りや催し物の際の警備など、その活動は多岐にわたっており、地元の防災リーダーとして自治会や地域の住民とともに「自分たちのまち」を守っていく、地域防災力の中核的な存在なのです。

また、消防団員の中には女性消防団員もあり、女性の持つソフトな面をいかし、高齢者宅の住宅に防火訪問し、住宅用火災警報器の普及促進をしたり、災害にも対応できるように住民に対する応急手当の普及指導を実施するなど活躍しています。

近年、消防団員の減少、平均年齢の上昇が進み、若い力の消防団への参加が強く期待されています。地域社会の活性化を図る一員として、あなたも消防団に参加してみませんか。

【応募資格】

市川市内在住または在勤で、18歳以上の健康な方

（消防団には、学生、会社員やOL、自営業、主婦など様々な人が入団しています。）

【問い合わせ】

市川市消防局 警防課
TEL 333-2111
（音声ガイダンス③番 警防課）



消防団の活動 上「防火訪問」
下「消防団パトロール」



熱中症 に注意しましょう

熱中症での救急搬送は高齢の方が多くありますが、若くて元気な人でも油断はできません。そのため次のような点に注意して、楽しい夏を過しましょう。

（予防対策）

1. 部屋の温度をこまめにチェックしましょう。
2. 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。
3. こまめに水分補給をしましょう。
4. 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策しましょう。
5. 無理せず、適度に休憩をとりましょう。
6. 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを心がけましょう。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。
落ち着いて、状況を確認かめて対処しましょう。
最初の措置が肝心です。

